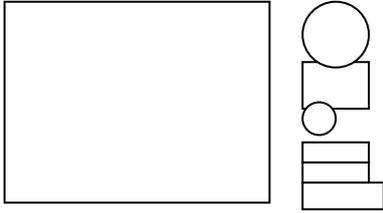


保育案 1

No	5歳児：はと組	活動日 2005年 9月22日(木)	指導者名	
題材名		スーパートラック		
活動主題	D	A：材料や技法との出会いや行為を楽しむ。 B：見立てて遊ぶ。 C：いのちのつながりを感じてあらかず。 D：おもいを伝える		
ねらい 経験させたい材料(用具)や技法 楽しませたい活動(遊び) 育てたい(発揮させたい)力 など		チューブ入り個人持ち絵の具セットとパス、カラーコンテなどの多様な描画材料の特徴を考えて選択して使う。 「こんなトラックがあつたらいいな」という発想から想像を広げて楽しむ。 想像したことを伝えたい気持ちを持って表現する。 想像したことを、材料や用具を生かして表現する。		
準備物	準備すべき材料・用具	<ul style="list-style-type: none"> 画用紙(四つ切り)白 チューブ入り絵の具セット(8色、個人持ち) 筆(14号) パス・カラーコンテセット(12色) 画板・雑巾・筆洗・菊皿パレット 	環境設定	 <ul style="list-style-type: none"> 上から筆洗、雑巾、パレットコンテやパス、絵の具セットなど
導入支援のポイント	<p>T「みんな宅配便って知っている？」 C「知っている！」など...</p> <p>T「じゃ、スーパー宅配便屋さんって知ってる？」 S「ええ～！？」「なに、それ？」等 T「どんなものでも、運べないものはない！っていうすごい宅配便屋さんなの。どんなものを運ぶと思う？」 しばらく子どもたちの発言を拾いながら、発想が飛躍するように仕掛ける。</p> <p>T「普通の宅配便屋さんでは運べないものが運べたり、どこへでも運べるすごいトラックを作りたいんだって！」 「みんなで、そんなスーパートラックを作っただけよう！」</p>	留意点	<ul style="list-style-type: none"> 「家」「車」といったところから、「虫を運ぶ」「魚を運ぶ」など飛躍が多様に見られるようになったら次へ進めるようにしたいが、あまりでないようなら、こちらから何か飛躍の例を示す。 できたとすぐに終わろうとする子には、さらにイメージが広がるように、話を聞きながら質問などをする。 絵の具の使い方については簡単に確認し、パスやコンテも一緒に使って良いことを伝える。 	
子どもの状態&反省	<ul style="list-style-type: none"> 導入時に「宇宙にマンションごと引っ越しする」や「お魚を生きたまま運ぶ」など子どもの側から多様な発想が出た。「虫をいっぱい運ぶ」や「動物園を丸ごと運ぶ」などその子らしい発想が出てきた。 集中時間が長く、ユニークな発想からどんどんイメージを発展させお話が広がっていった。 絵の具やパス、コンテなどすでに使い慣れているだけに、同時に出しても自分なりに考えて使い分けができていた。 			